

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	2023年11月10日
【四半期会計期間】	第42期第2四半期(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
【会社名】	株式会社松屋アールアンドディ
【英訳名】	Matsuya R&D Co.,Ltd
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 C E O 後藤 秀隆
【本店の所在の場所】	福井県大野市楯掛20号1番地2
【電話番号】	0779-66-2096(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 C F O 経営管理部長 松川 浩一
【最寄りの連絡場所】	福井県大野市楯掛20号1番地2
【電話番号】	0779-66-2096(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 C F O 経営管理部長 松川 浩一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第41期 第 2 四半期 連結累計期間	第42期 第 2 四半期 連結累計期間	第41期
会計期間	自2022年 4 月 1 日 至2022年 9 月30日	自2023年 4 月 1 日 至2023年 9 月30日	自2022年 4 月 1 日 至2023年 3 月31日
売上高 (千円)	2,872,997	4,162,857	7,164,225
経常利益 (千円)	290,510	618,888	675,221
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	204,684	437,111	425,702
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	674,183	901,447	557,509
純資産額 (千円)	3,888,591	4,661,745	3,775,147
総資産額 (千円)	8,842,273	9,717,906	8,743,538
1 株当たり四半期(当期)純利益 (円)	9.70	20.67	20.17
潜在株式調整後 1 株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	9.63	20.43	20.02
自己資本比率 (%)	44.0	48.0	43.2
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	32,626	261,647	914,795
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	647,595	546,139	1,279,647
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	1,174,216	145,601	1,220,017
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,116,241	2,011,473	2,318,909

回次	第41期 第 2 四半期 連結会計期間	第42期 第 2 四半期 連結会計期間
会計期間	自2022年 7 月 1 日 至2022年 9 月30日	自2023年 7 月 1 日 至2023年 9 月30日
1 株当たり四半期純利益 (円)	4.42	14.75

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 当社は2023年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき 4 株の割合で株式分割を行っております。
「1 株当たり四半期（当期）純利益」および「潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益」は、第41期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2 【事業の内容】

当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、経営者が連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があると認識している主要なリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、経済活動の正常化が進み、堅調な個人消費や設備投資、旺盛なインバウンド需要等により底堅く推移しました。一方、円安の進行やエネルギー・資源価格の上昇に起因した原材料・食料品等の度重なる値上げにより景気の下振れが懸念されます。海外に目を向けても中国における不動産市況の悪化に起因する経済成長鈍化やアメリカにおける金融引き締めによる景気後退懸念など、先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループではかねてより連結子会社であるMatsuya R&D (Vietnam)Co.,Ltd.において建設中の新工場が8月に完成し、9月8日の開所式から本格的に生産を開始しました。自社工場建設によりレンタル費用削減などコストダウンが図られるとともに、工場集約化や当社独自の生産管理システム導入により更なる生産性向上を進めてまいります。また、メディカルヘルスケア事業における血圧計腕帯では、前期におけるコロナ禍の影響がなくなり、受注が堅調に推移しました。セイフティシステム事業における縫製自動機では、インド向けエアバッグ用設備等の受注により売上が増加しました。カーシート・エアバッグでは前期までのコロナの影響や半導体不足が概ね解消されたことなどを背景に自動車の生産台数が増加したほか、エアバッグについて新規得意先向け量産開始により受注が増加しました。

そのほか、リハビリロボット「LunaEMG」については首都圏、関西圏を中心にデモ機を貸出するなど、受注に向けた積極的な営業活動を実施してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,162,857千円（前年同期比44.9%増）、営業利益616,575千円（前年同期比204.7%増）、経常利益618,888千円（前年同期比113.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は437,111千円（前年同期比113.6%増）となり、第2四半期連結累計期間の各利益は上場以来過去最高となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各セグメントの概況は、次のとおりであります。

（メディカルヘルスケア事業）

メディカルヘルスケア事業につきましては、前期までの中国におけるロックダウンや半導体不足の影響が概ね解消され、円安の進行と相まって、売上高は回復に向かいました。

以上の結果、売上高は2,848,188千円（前年同期比40.4%増）、セグメント利益は692,726千円（前年同期比67.8%増）となりました。

（セイフティシステム事業）

セイフティシステム事業につきましては、インド向けに大型レーザー裁断機やエアバッグ関連メーカー向けの自動機を、ベトナム向けにシリコン塗布機などを納入しました。カーシート・エアバッグでは、主にエアバッグの新規得意先向けの生産が増加しました。

以上の結果、売上高は1,291,889千円（前年同期比54.6%増）、セグメント利益は61,991千円（前年同期はセグメント損失82,345千円）となりました。

（その他事業）

その他事業につきましては、売上高は22,779千円（前年同期比185.0%増）セグメント利益は8,633千円（前年同期はセグメント損失3,290千円）となりました。

(2) 財政状態の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて464,850千円増加し、6,707,497千円となりました。これは主として、現金及び預金が307,435千円減少したことに対して、受取手形、売掛金及び契約資産が520,837千円、原材料及び貯蔵品が239,526千円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて509,517千円増加し、3,010,408千円となりました。これは、連結子会社 Matsuya R&D (Vietnam) Co., Ltd. の新工場が完成し旧工場から移転したことにより、建設仮勘定が1,601,138千円、使用権資産が105,640千円それぞれ減少し、建物及び構築物が1,267,065千円、土地が955,616千円それぞれ増加したことなどによるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて974,367千円増加し、9,717,906千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,346,956千円減少し、3,073,336千円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が178,081千円、1年内返済予定の長期借入金が104,628千円、未払金が163,582千円それぞれ増加したことなどに対して、短期借入金が1,620,000千円、未払法人税等が62,387千円、その他流動負債が124,076千円それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,434,726千円増加し、1,982,824千円となりました。これは短期借入金から切り替えた長期借入金1,503,730千円の増加が主要因です。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて87,769千円増加し、5,056,160千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は4,661,745千円と、前連結会計年度末に比べて886,598千円増加となりました。これは利益剰余金の配当により26,408千円減少したものの、譲渡制限付株式報酬による新株発行及び新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ5,779千円、為替換算調整勘定が464,335千円増加したこと、並びに親会社株主に帰属する四半期純利益を437,111千円計上したことによるものであります。また、減資により資本金298,772千円をその他資本剰余金に振替えております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の43.2%から48.0%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は2,011,473千円と、前連結会計年度末に比べ307,435千円減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は261,647千円（前年同四半期は32,626千円の獲得）となりました。

これは主として、売上債権の増加が402,508千円、棚卸資産の増加が168,752千円、法人税等の支払いが187,997千円あったことに対して、税金等調整前四半期純利益が618,888千円、減価償却費が162,062千円、賞与引当金の増加が29,138千円、仕入債務の増加が41,895千円、未払金の増加が145,919千円、未払又は未収消費税等の増減額が24,717千円あったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は546,139千円（前年同四半期は647,595千円の使用）となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出が531,438千円あったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は145,601千円（前年同四半期は1,174,216千円の獲得）となりました。

これは主として、長期借入れによる収入が1,620,000千円あったことに対して、短期借入金の減少が1,620,000千円、配当金の支払いが26,384千円、リース債務の返済による支出が114,554千円あったことなどによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事実上及び財務上の対処すべき新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、24,760千円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	72,000,000
計	72,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2023年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2023年11月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	21,169,600	21,169,600	東京証券取引所 グロース市場	単元株式数 100株
計	21,169,600	21,169,600		

(注) 提出日現在発行数には、2023年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2023年7月1日 (注) 1	15,855,000	21,140,000		310,132		210,132
2023年7月14日 (注) 2			298,772	11,360		210,132
2023年8月15日 (注) 3	9,600	21,149,600	2,289	13,649	2,289	212,422
2023年7月1日～ 2023年9月30日 (注) 4	20,000	21,169,600	2,130	15,779	2,130	214,552

(注) 1. 株式分割(1:4)によるものであります。

2. 会社法第447条第1項の規定に基づき、今後の資本政策の機動性及び柔軟性を図るため、資本金を減少し、その他資本剰余金へ振り替えたものであります(減資割合96.3%)。

3. 譲渡制限付株式報酬としての新株発行による増加であります。

発行価格 1株につき477円

資本組入額 1株につき238.5円

割当先 取締役3名(社外取締役1名含む)、当社執行役員3名

4. 新株予約権の行使による増加であります。

(5) 【大株主の状況】

2023年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
後藤 倫啓	大阪府大阪市天王寺区	3,600,000	17.01
後藤 匡啓	東京都文京区	3,600,000	17.01
オムロンヘルスケア株式会社	京都府向日市寺戸町九ノ坪53番地	3,165,200	14.95
ゴトウホールディング株式会社	福井県大野市元町3番19号	2,000,000	9.45
後藤 秀隆	福井県福井市	1,880,000	8.88
前田工織株式会社	福井県坂井市春江町沖布目第38号3番地	800,000	3.78
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番12号	531,000	2.51
栗本 英有	愛知県一宮市	400,400	1.89
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE (常任代理 人 株式会社三菱UFJ銀行)	2 KING EDWARD STREET, LONDON EC1A 1HQ UNITED KINGDOM (東京都千代田区丸の内2丁 目7-1)	396,533	1.87
楽天証券株式会社	東京都港区南青山2丁目6番21号	370,100	1.75
計	-	16,743,233	79.09

(注) 発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合は、小数点以下第3位を四捨五入しております。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2023年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 21,165,300	211,653	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお、1単元の株式数は、100株であります。
単元未満株式	普通株式 3,600		
発行済株式総数	21,169,600		
総株主の議決権		211,653	

(注) 1. 「完全議決権株式(自己株式等)」欄の普通株式は、すべて当社保有の自己株式です。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式12株が含まれております。

3. 2023年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っており、上記株式数については、当該株式分割後の株式数を記載しております。

【自己株式等】

2023年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社松屋アールアンドディ	福井県大野市鍬掛 20号1番地2	700		700	0.00
計		700		700	0.00

(注) 2023年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っており、上記株式数については、当該株式分割後の株式数を記載しております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出後、当四半期累計期間における役員の異動はございません。

第 4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2023年7月1日から2023年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,343,950	2,036,514
受取手形、売掛金及び契約資産	1,345,899	1,866,737
電子記録債権	5,491	-
商品及び製品	737,941	758,387
仕掛品	303,742	351,330
原材料及び貯蔵品	1,283,130	1,522,656
その他	222,491	171,870
流動資産合計	6,242,647	6,707,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	165,181	1,432,247
機械装置及び運搬具（純額）	73,087	100,174
土地	117,920	1,073,536
使用权資産（純額）	176,023	70,383
建設仮勘定	1,609,029	7,890
その他（純額）	257,639	242,023
有形固定資産合計	2,398,882	2,926,255
無形固定資産	4,645	10,561
投資その他の資産		
繰延税金資産	16,434	1,029
その他	80,928	72,561
投資その他の資産合計	97,362	73,591
固定資産合計	2,500,891	3,010,408
資産合計	8,743,538	9,717,906

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	438,313	616,394
電子記録債務	147,879	129,929
短期借入金	2,570,000	950,000
1年内返済予定の長期借入金	20,412	125,040
未払金	789,812	953,395
未払法人税等	148,967	86,580
賞与引当金	29,975	61,140
その他	274,931	150,855
流動負債合計	4,420,292	3,073,336
固定負債		
長期借入金	28,160	1,531,890
退職給付に係る負債	125,547	132,840
繰延税金負債	7,399	48,511
その他	386,991	269,583
固定負債合計	548,098	1,982,824
負債合計	4,968,391	5,056,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	308,772	15,779
資本剰余金	201,124	505,676
利益剰余金	3,068,172	3,478,875
自己株式	479	479
株主資本合計	3,577,590	3,999,852
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	197,556	661,892
その他の包括利益累計額合計	197,556	661,892
純資産合計	3,775,147	4,661,745
負債純資産合計	8,743,538	9,717,906

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,872,997	4,162,857
売上原価	2,259,078	3,067,469
売上総利益	613,918	1,095,387
販売費及び一般管理費	411,567	478,812
営業利益	202,351	616,575
営業外収益		
受取利息	1,337	1,662
受取配当金	0	0
為替差益	100,539	34,414
その他	8,944	1,986
営業外収益合計	110,822	38,064
営業外費用		
支払利息	22,431	18,513
工場移転関連費用	-	15,749
その他	231	1,488
営業外費用合計	22,663	35,751
経常利益	290,510	618,888
税金等調整前四半期純利益	290,510	618,888
法人税、住民税及び事業税	75,017	124,741
法人税等調整額	10,808	57,035
法人税等合計	85,826	181,776
四半期純利益	204,684	437,111
親会社株主に帰属する四半期純利益	204,684	437,111

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	204,684	437,111
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	469,499	464,335
その他の包括利益合計	469,499	464,335
四半期包括利益	674,183	901,447
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	674,183	901,447

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	290,510	618,888
減価償却費	128,730	162,062
賞与引当金の増減額(は減少)	19,595	29,138
受注損失引当金の増減額(は減少)	10,634	-
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	2,665	6,968
受取利息及び受取配当金	1,338	1,663
支払利息	22,431	18,513
為替差損益(は益)	59,380	4,935
売上債権の増減額(は増加)	86,235	402,508
棚卸資産の増減額(は増加)	293,902	168,752
仕入債務の増減額(は減少)	206,531	41,895
未払金の増減額(は減少)	124,556	145,919
未払又は未収消費税等の増減額	37,702	24,717
その他	15,583	1,895
小計	125,057	468,347
利息及び配当金の受取額	1,338	1,663
利息の支払額	22,625	20,365
法人税等の支払額	71,144	187,997
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,626	261,647
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	20,528	20,528
定期預金の払戻による収入	13,928	13,928
有形固定資産の取得による支出	640,765	531,438
無形固定資産の取得による支出	198	8,071
その他	31	28
投資活動によるキャッシュ・フロー	647,595	546,139
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,270,000	1,620,000
長期借入れによる収入	-	1,620,000
長期借入金の返済による支出	18,516	11,642
配当金の支払額	26,320	26,384
セール・アンド・リースバックによる収入	21,594	-
リース債務の返済による支出	72,711	114,554
新株予約権の行使による株式の発行による収入	170	6,980
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,174,216	145,601
現金及び現金同等物に係る換算差額	89,552	122,657
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	648,800	307,435
現金及び現金同等物の期首残高	1,467,441	2,318,909
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,116,241	2,011,473

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2022年 4 月 1 日 至 2022年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2023年 4 月 1 日 至 2023年 9 月30日)
従業員給与手当	101,049千円	129,083千円
賞与引当金繰入額	9,944千円	12,181千円
退職給付費用	3,167千円	3,810千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2022年 4 月 1 日 至 2022年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2023年 4 月 1 日 至 2023年 9 月30日)
現金及び預金勘定	2,141,282千円	2,036,514千円
預入期間が 3 か月を超える定期預金	25,040千円	25,041千円
現金及び現金同等物	2,116,241千円	2,011,473千円

(株主資本等関係)

前第 2 四半期連結累計期間(自 2022年 4 月 1 日 至 2022年 9 月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年 6 月29日 定時株主総会	普通株式	26,376	5.00	2022年 3 月31日	2022年 6 月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第 2 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期連結会計期間の末日後になるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第 2 四半期連結累計期間(自 2023年 4 月 1 日 至 2023年 9 月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年 6 月29日 定時株主総会	普通株式	26,408	5.00	2023年 3 月31日	2023年 6 月30日	利益剰余金

(注) 2023年 7 月 1 日を効力発生日として普通株式 1 株につき 4 株の割合で株式分割を行いました。「1株当たり配当額」につきましては、当該株式分割前の金額を記載しております。

2. 基準日が当第 2 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期連結会計期間の末日後になるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

2023年 6 月29日開催の定時株主総会の決議に基づき、2023年 7 月14日付で減資の効力が発生したこと、新株予約権の行使及び譲渡制限付株式報酬による新株の発行が行われたことにより、当第 2 四半期連結累計期間において、資本金が292,993千円減少し、資本剰余金が304,552千円増加しております。

この結果、当第 2 四半期連結会計期間末において、資本金が15,779千円、資本剰余金が505,676千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディカル ヘルスケア	セイフティ システム	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,029,170	835,834	7,992	2,872,997	-	2,872,997
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,029,170	835,834	7,992	2,872,997	-	2,872,997
セグメント利益又は損失 ()	412,782	82,345	3,290	327,146	124,795	202,351

(注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額 124,795千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失()の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディカル ヘルスケア	セイフティ システム	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,848,188	1,291,889	22,779	4,162,857	-	4,162,857
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,848,188	1,291,889	22,779	4,162,857	-	4,162,857
セグメント利益	692,726	61,991	8,633	763,352	146,776	616,575

(注) 1. セグメント利益の調整額 146,776千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

財又はサービス別に分解した顧客との契約から生じる収益は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	メディカルヘルスケア	セイフティシステム	その他	
売上高				
縫製自動機	2,104	244,220	5,742	252,067
血圧計腕帯	1,998,180	-	-	1,998,180
カーシート	-	387,209	-	387,209
エアバッグ	-	188,618	-	188,618
その他	28,885	15,786	2,249	46,921
外部顧客への売上高	2,029,170	835,834	7,992	2,872,997

財又はサービスの収益認識の時期別に分解した顧客との契約から生じる収益は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	メディカルヘルスケア	セイフティシステム	その他	
売上高				
一時点で移転される財	2,029,170	605,715	4,553	2,639,439
一定期間にわたり移転される財	-	230,119	3,438	233,558
外部顧客への売上高	2,029,170	835,834	7,992	2,872,997

当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

財又はサービス別に分解した顧客との契約から生じる収益は以下のとおりであります。

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	メディカルヘルスケア	セイフティシステム	その他	
売上高				
縫製自動機	-	286,268	16,262	302,530
血圧計腕帯	2,848,188	-	-	2,848,188
カーシート	-	470,136	-	470,136
エアバッグ	-	523,128	-	523,128
その他	-	12,356	6,516	18,872
外部顧客への売上高	2,848,188	1,291,889	22,779	4,162,857

財又はサービスの収益認識の時期別に分解した顧客との契約から生じる収益は以下のとおりであります。

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	メディカルヘルスケア	セイフティシステム	その他	
売上高				
一時点で移転される財	2,848,188	1,041,995	19,119	3,909,303
一定期間にわたり移転される財	-	249,894	3,659	253,554
外部顧客への売上高	2,848,188	1,291,889	22,779	4,162,857

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	9円70銭	20円67銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	204,684	437,111
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	204,684	437,111
普通株式の期中平均株式数(株)	21,103,904	21,143,939
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	9円63銭	20円43銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	148,940	254,675
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業 年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2023年11月10日

株式会社松屋アールアンドディ
取締役会 御中

三優監査法人

大阪事務所

指定社員 業務執行社員	公認会計士	鳥 居 陽
指定社員 業務執行社員	公認会計士	米 崎 直 人

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社松屋アールアンドディの2023年4月1日から2024年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2023年7月1日から2023年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社松屋アールアンドディ及び連結子会社の2023年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。
監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記の四半期レビュー報告書の原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 . X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。